

＼みんなで盛り上げる／

東日本大震災の復興シンボル「千年希望の丘」プロジェクト

～市民の手により未来へつなぐ「千年希望の丘」震災伝承・防災学習事業～

平成31年度企業版ふるさと納税記念植樹を行いました

令和2年4月16日、平成31年度に企業版ふるさと納税としてご寄附いただいた企業様へのお礼として、記念植樹を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市長らによる代理植樹とさせていただきました。



植樹の様子(左から当市副市長、市長、総務部長)



植樹場所に設置した看板

植樹した品種は「タマユメザクラ」



「タマユメザクラ」(写真提供:宮城県農業高校)

「タマユメザクラ」は、宮城県農業高校の尾形先生が「タオヤマ」と「オオシマザクラ」を人工交配させて作出した品種であり、現在品種登録中です。

尾形先生によれば、「平成31年4月に岩沼市の玉浦西地区(防災集団移転先の地区)で開催された大花見会の席上、宮城県農業高校の生徒が切り花を寄贈したところ、住民からは地区の宝にしたいので地域の名前を付けて本物の苗木を寄贈してほしいと懇願された。その後、校内で桜の名前を命名。「玉」という文字は地区名の「玉浦西」からとった。花の形も「玉」がイメージできた。また「夢」は早期復興を成し遂げ、自分たちの夢や未来に思いを馳せてほしいという願いを込めて採用した。」とのことでした。

植樹したサクラが咲きました

これまで企業版ふるさと納税の記念植樹で植樹したサクラが、見事に花を咲かせました。今年植樹した「タマユメザクラ」は、4月中旬ごろ花を咲かせる品種とのことでした。

企業の皆様、ご寄附いただき
ありがとうございました。



オオシマザクラ(左、平成29年度)とカンノンジアワベニザクラ(右、平成30年度)